

番号-所属	番号-通番	事業名	担当課名
1140640	1	病院事業	病院政策課
1140640	2	託児所事業	病院政策課
1140660	1	看護師養成所事業	看護専門学校

【1.基本情報】

事業名	病院事業									
担当部名	市民病院					担当課名	病院政策課			
実施方法	直営			補助等の種類			実施主体	岐阜市		
開始・終了年度	昭和	16	年度～			年度	根拠法令・関連計画	医療法、健康保険法等・岐阜県保健医療計画等		

【2.事業概要】

目的(インパクト) (何のためか)		市民の生命を守る病院として、先進的かつ高度な医療を提供する								
内容(アクティビティ) (手段・手法など)		・内科、外科など29の診療科目を標榜する総合病院として、一般病床515床、精神病床50床、計565床を有する。 ・岐阜圏域全体の急性期医療の中心的役割を担っている。 ・地域医療支援病院、紹介受診重点医療機関、地域がん診療連携拠点病院、地域災害拠点病院、DMAT指定病院、認知症疾患医療センター(基幹型)、がんゲノム医療連携病院として、地域の中核病院としての役割を担っている。								
事業の対象	何を	先進的かつ高度な医療を								
	誰に	治療を要する患者に								
	どのくらい	適切かつ最善の医療を提供する								
前年度からの改善点 (継続事業の場合)		—								

【3.支出】

(1)職員人件費

	令和4年度		令和5年度		令和6年度	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正職員	10,038,891	315,688	10,434,499	324,053	11,185,942	339,998
パートタイム会計年度任用職員A	0	0	0	0	0	0
パートタイム会計年度任用職員B	0	0	0	0	0	0
計(A)	10,038,891	315,688	10,434,499	324,053	11,185,942	339,998

(2)事業費

	令和4年度(千円)	令和5年度(千円)	令和6年度(千円)
予算額(B)	13,067,555	13,762,037	14,585,923
決算額(C)	10,616,046	11,297,154	12,771,712
差額(B-C)	2,451,509	2,464,883	1,814,211
執行率(C/B)	81%	82%	88%

(3)総コスト

総事業費(D)=A+C	令和4年度(千円)	令和5年度(千円)	令和6年度(千円)
	20,654,937	21,731,653	23,957,654

【4.収入】

	令和4年度(千円)	令和5年度(千円)	令和6年度(千円)
予算額(E)	311,325	307,468	345,983
決算額(F)	874,871	469,791	334,444
差額(E-F)	-563,546	-162,323	11,539
執行率(F/E)	281%	153%	97%

【5.収支(インプット)】

市負担額一般財源(D-F)	令和4年度(千円)	令和5年度(千円)	令和6年度(千円)
	19,780,066	21,261,862	23,623,210

アウトプット評価（活動に基づく産出物（サービス））

アウトカム評価（活動に基づく成果）

【7.観点評価】

【8.総合評価】 (定量評価及び定性評価を踏まえた評価)

総合評価	令和4年度		令和5年度		令和6年度		方向性基準 (基準点を満たすものから選択)
	点数	方向性	点数	方向性	点数	方向性	
		現状維持		現状維持	41 / 50	継続	・40点以上: 拡充 ・25点以上: 継続 ・15点以上: 改善 ・0点以上: 縮小・廃止
公立病院として、地域の医療機関と連携し、幅広い医療を提供するとともに、様々な機関指定により、地域の中核病院としての役割を担っていることから、地域の医療を支える必要な事業である。							

【1.基本情報】

事業名	託児所事業									
担当部名	市民病院				担当課名		病院政策課			
実施方法	直営		補助等の種類				実施主体	岐阜市		
開始・終了年度	昭和	47	年度～			年度	根拠法令・関連計画	児童福祉法 等		

【2.事業概要】

目的(インパクト) (何のためか)		市民病院勤務職員の子どもを保育する								
内容(アクティビティ) (手段・手法など)		市民病院 院内保育所 子どもの保育にあたる保護者が市民病院で勤務することにより、家庭で保育することが出来ない子どもを保育する								
事業の 対象	何を	保育サービスを								
	誰に	病院職員が養育する生後57日～小学校就学前までの乳幼児に								
	どのくらい	保育時間:通常保育 7:45～18:00(月～土曜日)、延長保育 18:00～20:00(希望者) 夜間保育 20:00～翌日7:45 (毎週月曜日・金曜日、希望者)								
前年度からの改善点 (継続事業の場合)		—								

【3.支出】

(1)職員人件費

	令和4年度		令和5年度		令和6年度	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正職員	53,860	1,694	54,145	1,682	59,264	1,801
パートタイム会計年度任用職員A	0	0	0	0	0	0
パートタイム会計年度任用職員B	0	0	0	0	0	0
計(A)	53,860	1,694	54,145	1,682	59,264	1,801

(2)事業費

	令和4年度(千円)	令和5年度(千円)	令和6年度(千円)
予算額(B)	4,500	5,289	4,838
決算額(C)	3,248	3,563	3,042
差額(B-C)	1,252	1,726	1,796
執行率(C/B)	72%	67%	63%

(3)総コスト

総事業費(D)=A+C	令和4年度(千円)	令和5年度(千円)	令和6年度(千円)
	57,108	57,708	62,306

【4.収入】

	令和4年度(千円)	令和5年度(千円)	令和6年度(千円)
予算額(E)	9,772	9,810	9,810
決算額(F)	8,249	9,713	8,018
差額(E-F)	1,523	97	1,792
執行率(F/E)	84%	99%	82%

【5.収支(インプット)】

市負担額一般 財源(DーF)	令和4年度(千円)	令和5年度(千円)	令和6年度(千円)
	48,859	47,995	54,288

【6.指標評価】

アウトプット評価（活動に基づく産出物（サービス））

指標	利用児童数(月平均)		単位	人
	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
目標値	25	25	25	
実績値	16	18	15	
達成率	64.0%	72.0%	60.0%	

アウトカム評価（活動に基づく成果）

成果	子育てしながら働く市民病院職員のサポートおよび育児休業等取得者の早期復帰			
指標	年間利用職員数(通常・短期)		単位	人
	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
目標値(以上)	40	40	40	
実績値	21	25	20	
達成率	52.5%	62.5%	50.0%	

【7.観点評価】

観点	評価項目	評価点数	評価基準		根拠となるデータ等・評価の説明 (評価基準に適合することを示す具体的な数値等)
必要性	事業により発生する効果が必要とされているか	3	5	ニーズが高く必要性が高い(データを明記)	子育てしながら働く市民病院職員をサポートするために必要である。
			3	ある程度のニーズがあり必要性がある	
			1	必要性はあまり高くない	
	国、県、民間や地域との役割分担から、市が実施する必要があるか	3	5	制度の主旨等から市以外が実施できない	市民病院に至近であること、保育時間等の条件が病院職員の勤務形態に対応している点から必要性が高い。
			3	市が実施することにより事業効果が高くなる	
			1	市が実施する必要性はあまり高くない	
効率性	効率化されているか ・契約方法や仕様、事務手続、業務フローの見直し、DX、人件費削減など ※効率化の具体的な内容を評価の説明欄に記入	3	5	効率化により事業費や人件費が抑えられるなど生産性が向上している(金額を明記)	離職防止、復職支援に効果的で、病院職員の安定確保が図られるなどの効果がある。
			3	効率化によりミスが防止される、作業負荷が軽減されるなど生産性が向上している	
			1	効率化されていない	
有効性	事業の実施結果であるアウトプットは事業の成果であるアウトカムにつながっているか	3	5	データの比較などにより、因果関係を示すことができる(データの分析内容を明記)	利用者数は前年度に比べ減少しているが、新保育所の完成後は育児休業者の早期復帰など利用者増が見込まれる。
			3	相関関係を示すデータがある	
			1	つながっていない又は不明確	
	アウトカム目標達成度	7 15	達成率20%ごとに1点(100%まで) (実績のないものは直近の達成率により計算)		
先見性	将来の課題を見据えた事業であるか ・人口減少・高齢化・気候変動・産業構造の変化など	5	5	将来の課題解決に直接的に結びつく事業である	保育所を充実することで、育児休業等取得者の早期復帰が見込まれるとともに、職員採用における強みにもなり医療従事者確保につながる。
			3	将来の課題解決に間接的に結びつく事業である	
			1	将来の課題解決に対する効果はあまりない	
重要性	市の目指すべき方向性と合致しているか	8	10	未来のまちづくり構想で定めるまちづくりの方向性に関わる中核的な事業である	未来のまちづくり構想に定める「いのちを支える安心の医療体制」を継続していくために、市民病院の医療従事者の確保、離職防止につながる必要な事業である。
			8	未来のまちづくり構想で定めるまちづくりの方向性に関わる事業である	
			5	事業が市の各種計画に定められている(計画名を明記)	
			3	事業の一部が市の計画に関係している(計画名を明記)	
			1	事業が市の計画に直接的に関係していない	

【8.総合評価】（定量評価及び定性評価を踏まえた評価）

総合評価	令和4年度		令和5年度		令和6年度		方向性基準 (基準点を満たすものから選択)
	点数	方向性	点数	方向性	点数	方向性	
		現状維持		拡充	32 50	継続	・40点以上: 拡充 ・25点以上: 継続 ・15点以上: 改善 ・0点以上: 縮小・廃止
	市民病院の医療従事者の確保、離職防止につながる必要な事業である。						

- ・40点以上:拡充
- ・25点以上:継続
- ・15点以上:改善
- ・0点以上:縮小・廃止

【1.基本情報】

事業名	看護師養成所事業									
担当部名	市民病院					担当課名	看護専門学校			
実施方法	直営			補助等の種類			実施主体	岐阜市		
開始・終了年度	昭和	47	年度～			年度	根拠法令・関連計画	保健師助産師看護師法、学校教育法等		

【2.事業概要】

目的(インパクト) (何のためか)		対象に寄り添い、多様な場の状況に合わせた看護を創造できる看護師の育成								
内容(アクティビティ) (手段・手法など)		岐阜市立看護専門学校(昭和47年4月開設)(准看護学校から移行) 3年課程、看護学科、入学定員35名、総定員105名 在学者数101名(1年28名、2年35名、3年38名)(令和7年4月現在)								
事業の 対象	何を	看護師に必要な知識及び技術を								
	誰に	本学学生に								
	どのくらい	教育課程 112単位 3,060時間								
前年度からの改善点 (継続事業の場合)		令和6年4月時点 在学者数110名(1年35名、2年37名、3年38名) 年間平均109名(退学等異動考慮後) 令和6年度卒業生35名								

【3.支出】

(1)職員人件費

	令和4年度		令和5年度		令和6年度	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正職員	108,978	3,427	97,289	3,021	95,955	2,917
パートタイム会計年度任用職員A	0	0	0	0	0	0
パートタイム会計年度任用職員B	0	0	0	0	0	0
計(A)	108,978	3,427	97,289	3,021	95,955	2,917

(2)事業費

	令和4年度(千円)	令和5年度(千円)	令和6年度(千円)
予算額(B)	42,363	45,334	41,747
決算額(C)	28,852	32,723	35,271
差額(B-C)	13,511	12,611	6,476
執行率(C/B)	68%	72%	84%

(3)総コスト

総事業費(D)=A+C	令和4年度(千円)	令和5年度(千円)	令和6年度(千円)
	137,830	130,012	131,226

【4.収入】

	令和4年度(千円)	令和5年度(千円)	令和6年度(千円)
予算額(E)	12,551	12,761	13,114
決算額(F)	12,602	12,887	12,347
差額(E-F)	-51	-126	767
執行率(F/E)	100%	101%	94%

【5.収支(インプット)】

市負担額一般 財源(D-F)	令和4年度(千円)	令和5年度(千円)	令和6年度(千円)
	125,228	117,125	118,879

アウトプット評価（活動に基づく産出物（サービス））

アウトカム評価（活動に基づく成果）

【7.観点評価】

【8.総合評価】 (定量評価及び定性評価を踏まえた評価)

総合評価	令和4年度		令和5年度		令和6年度		方向性基準 (基準点を満たすものから選択)
	点数	方向性	点数	方向性	点数	方向性	
		現状維持		現状維持	40 50	継続	・40点以上: 拡充 ・25点以上: 継続 ・15点以上: 改善 ・0点以上: 縮小・廃止
看護師育成は、市民病院をはじめとした地域医療機関にとって非常に重要であることから、継続して実施していく。							